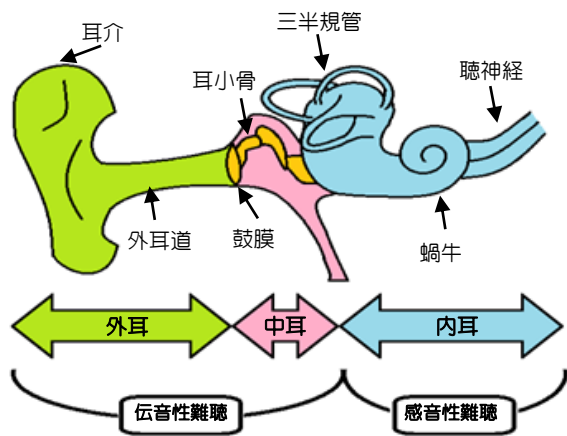


耳のしくみと難聴の種類



伝音性難聴

音を伝える部分(外耳・中耳)の障害で、音が小さく聞こえる

原因: 中耳炎・鼓膜の損傷・耳垢のつまり など

感音性難聴

音を感じる部分(内耳・聴神経)の障害で、音がひずんで聞こえる

原因: 加齢・病気・長期間の騒音 など

混合性難聴

伝音性難聴と感音性難聴の両方が合わさった難聴で、どちらの症状がより強いかによって、症状はさまざまです

高齢者に多い「感音性難聴」

難聴の症状は人によってそれぞれですが、高齢者は「高い音」が聞き取りにくく、また音がひずんで聞こえる「感音性難聴」が多いとされています。難聴は周囲からの孤立につながり、認知症のリスクが高まります。難聴が疑われる場合は、早めに耳鼻科を受診しましょう。

耳の聞こえチェック！

聴力の衰えは自分では気がつきにくいものです。ぜひ、ご家族と一緒にチェックしてみましょう。

聞こえのチェックシート

- 会話をしている時に聞き返すことがよくある。
- 後ろから呼び掛けると気付かないことがある。
- 聞き間違いが多い。
- 見えない所からの車の接近にまったく気がつかないことがある。
- 話し声が大きいと言われる。
- 集会や会議など数人の会話でうまく聞き取れない。
- 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
- 相手の言ったことを推測で判断することがある。
- 騒音の多い職場や大きくうるさい音のする場所で過ごすことが多い。
- 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある。

- 0~2個 現時点では大丈夫。生活に問題があれば、耳鼻科医にご相談を。
- 3~4個 耳鼻科医に相談してみましょう。
- 5個以上 できるだけ早く、耳鼻科医の診察を受けましょう。

日本補聴器工業会資料 一部改変

すぐに役立つ！！
聞こえにくいと感じたら
～高齢者の難聴への対応～



一般社団法人千葉県言語聴覚士会
地域リハビリテーション委員会
2018年作成

言語聴覚士

Speech therapist:ST

ことばや聞こえなど、コミュニケーションに障害のある方や、食べること・飲みこむことに障害のある方に対して、相談・評価・訓練・指導などの援助を行う専門職です

一般社団法人
千葉県言語聴覚士会

Chiba Association of
Speech-Language-Hearing Therapists
Since 2001

〒263-0042
千葉市稲毛区黒砂2-6-15 メゾンK102
<http://chiba-st.com/>



家族からみた聞こえのポイント

70代で5割が軽度難聴、80代では5割が中等度難聴の状態にあるといわれています。

軽度難聴 25～49dB		小さな声や雑音下、会議での会話が聞き取りにくい
中等度難聴 50～69dB		普通の大きさの声の会話が聞き取りにくい
高度難聴 70～89dB		大きな声でなければ聞こえない
重度難聴 90dB以上		耳元の大きな声でも聞き取れないことが多い

補聴器との上手なつきあい方

補聴器をつけても、最初からはっきり聞こえるわけではありません。補聴器の調整を含め、数週間から長いと3か月以上の期間が必要です。つけはじめは、うるさく感じることもあります。そのような場合には静かな環境で使用することから始め、少しずつ補聴器をつける時間を伸ばし、補聴器に慣れていくことが大切です。聞こえの問題が軽い頃から利用すると、慣れる期間を短くすることが出来ます。難聴が進む前に耳鼻科を受診しましょう。

聞こえにくいと感じたら ～補聴器購入の流れ～

難聴の原因はさまざまです。補聴器を購入する前に、耳鼻科医の診察を受け、「聞こえの状態」を確認しましょう。

① 聴力検査などから補聴器が必要か診断してもらいましょう



耳鼻科医の中でもさらに補聴器に特化した補聴器相談医がいます。日本耳鼻咽喉科学会ホームページ (<http://www.jibika.or.jp>) に名簿がありますので、ご確認ください。

医師に補聴器をすすめられたら、販売店に行ってみましょう。補聴器は身体障害者手帳を所持している場合、公的支援制度が使えます。

- ② 相談
- ③ 試聴
- ④ 調整
- ⑤ 購入
- ⑥ フォローアップ



試聴、調整を繰り返します

聞こえにくい方への話しかけ方

聞こえにくい方に対して、話し手がコミュニケーションのコツを知ると、より伝わりやすくなります。ここでは、その一部を紹介します。



顔や口元が見える位置で、ゆっくり、はっきり、伝える

言葉だけでなく、「表情」や「口の形」も見せるように意識しましょう。さらに、

- 「静かな環境」で、話しかけましょう。
- 話し始めを知らせる合図を送りましょう。
- 必要以上の大声は要りません。
- 「低めの声」だと、よりよいです。

■ 誤解をさけるために「重要な事」は「文字」も使って伝えましょう。



公的な支援制度について

○難聴は聴力レベルによって、身体障害者手帳の交付が受けられます。
○手続きは本人の申請に基づき、市町村が行います。詳しくは、お住まいの市町村障害福祉担当課にお問い合わせください。